

## 私が専門看護師になった理由（わけ）

石川 博康 （東京都立松沢病院）

---

看護師1年目の時から、精神看護専門看護師を目指し始めました。民間の精神科病院に就職して目指す看護師像を考えていた頃、看護雑誌に載っていた「男性初の精神看護専門看護師」の記事に出会いました。その方が都立松沢病院で勤務されていて、自分の看護に対する不安や希望、思いを書いて手紙を送ったところすぐに返信があり、温かい励ましのメッセージと目指す看護の方向性を強く支援する言葉をいただきました。この人のようなスタッフ、患者の希望に働きかけることができる精神看護のスペシャリストになろうと強く思ったことが専門看護師を目指したきっかけです。

次に本格的に大学院の専門看護師コースで学ぼうと取り組んだきっかけは、病院内の精神科エキスパートコース受講中に退院促進がうまくいかないケースを、専門看護師の指導のもとに退院促進につながる援助ができたことに感銘を受けたからです。病院での新人基礎教育が終わり、専門性を高めて行きたいと考えていた時期で、精神看護専門領域における知識・技術を理論的に学習して、日々の患者との関わりの中で身につけた経験を自分の言葉で説明できるようになりたいと思いました。

現在は、1人、2人から始めた専門看護師の活動が同じ大学院を卒業した3名を含め4人になりました。6つの専門看護師の役割をはじめ、認知行動療法やSSTの普及、院内研修の講義、院外講義の支援、執筆などできることが広がっていくことがとても嬉しいです。

将来的には、利用者や患者を総合的に支援するケアコーディネーターとして、医療と保健、福祉、教育をつなげる役割を目指しています。自らのケアを通して組織全体や現場の看護師の実践能力を向上できるように働きかけていきたいと考えております。東京都にはマイスター制度というものができたので、精神看護の分野で東京都の中でも認められるスペシャリストになりたいと考えています。

---